

枚方市立小学校長  
枚方市立中学校長

枚方市健康福祉部保健所  
保健医療課長

### 自殺対策に関するアンケートについて(ご協力のお願い)

本市では、誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができる「ひらかた」を目指し、平成31年3月に自殺対策基本法に基づく「枚方市いのち支える行動計画」(自殺対策計画)を策定しており、枚方市教育委員会とも連携・協力しながら、自殺対策の推進を図っております。

今年度は、同計画の改定作業を行っておりますが、その際、子ども・若者の自殺対策は大きな課題の一つとなっているため、小中学校教員の皆さまに現場の声をお聞きして、今後の施策に生かせるよう、8月31日開催の校長会を経て、下記のとおりアンケートを実施させていただく運びとなりました。

新学期が始まり、業務ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、この文書を教員の皆さまのタブレットに配信していただき、多くのご回答が得られますよう、何卒ご協力をお願い申し上げます。

### 記

#### 1. アンケート内容

児童・生徒の自死に関する相談・対応を行った経験の有無、必要と考える対策など5問程度

#### 2. 対象者

枚方市立小中学校の教員の皆さま(担任の有無等は問いません。)

#### 3. 回答方法

次のURLまたはQRコードからアクセスし、ご回答をお願いします。



<https://logoform.jp/form/H276/363296>

#### 4. 回答希望日

令和5年9月29日(金)18:00までにご回答いただけると幸いです。

※それ以降もご回答を受け付けておりますが、この時点で一度、集計させていただく予定です。

#### 5. その他

- ①回答者が特定できないよう、属性についての質問項目は設定していません。
- ②アンケート結果については、枚方市教育委員会と共有させていただきます。
- ③本書とは別に、心の教室相談員、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの皆さまを対象として、書面でのご回答をお願いする文書を庁内連絡便でお送りしております。

#### (問い合わせ・連絡先)

枚方市 健康福祉部 保健所 保健医療課  
担当 宮本・小澤  
〒573-0027 枚方市大垣内町 2-2-2  
TEL:072-807-7623(直通)  
FAX:072-845-0685  
E-mail:hoyosei@city.hirakata.osaka.jp

心の教室相談員  
スクールカウンセラー  
スクールソーシャルワーカーの皆さまへ

枚方市健康福祉部保健所  
保健医療課長

自殺対策に関するアンケートについて(ご協力のお願い)

本市では、誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができるよう「ひらかた」を目指し、平成31年3月に自殺対策基本法に基づく「枚方市いのちを支える行動計画」(自殺対策計画)を策定しており、枚方市教育委員会とも連携・協力しながら、自殺対策の推進を図っております。

今年度は、同計画の改定作業を行っておりますが、その際、子ども・若者の自殺対策は大きな課題の一つとなっているため、小中学校に配置されている専門職の皆さまに現場の声をお聞きして、今後の施策に生かせるよう、8月31日開催の校長会を経て、下記のとおりアンケートを実施させていただき運びとなりました。

新学期が始まり、業務ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、アンケートへのご回答にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. アンケート内容

児童・生徒の自死に関する相談・対応を行った経験の有無、必要と考える対策など5問程度

2. 対象者

枚方市立小中学校に配置されている心の教室相談員、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの皆さま

3. 回答方法

本書の裏面にご回答を記載し、同封の返信用封筒により庁内連絡便で保健所へお送りください。

4. 回答希望日

令和5年10月27日(金)までにご回答が到着するようご配慮いただくと幸いです。

※それ以降もご回答を受け付けておりますが、この時点で一度、集計させていただき予定です。

5. その他

①回答者が特定できないよう、属性についての質問項目は設定していません。

②アンケート結果については、枚方市教育委員会と共有させていただきます。

③別途、小中学校の教員の皆さまにもご協力をお願いしております。

(問い合わせ・連絡先)

枚方市 健康福祉部 保健所 保健医療課

担当 宮本・小澤

〒573-0027 枚方市大垣内町 2-2-2

TEL:072-807-7623(直通)

FAX:072-845-0685

E-mail:hoyosei@city.hirakata.osaka.jp

次の各設問のうち、当てはまる番号に○をしていただくようお願いいたします(一部、自由記載)。

1) 在籍している児童・生徒自身の自死に関する相談や対応を行ったことはありますか。

(過去に一度でもあれば「はい」とお答えください。)

- ①はい ②いいえ

2) 1)において①(自死に関する相談や対応を行ったことがある)と回答された方にお尋ねします。

児童・生徒自身の自死に関する相談や対応を行ったのはいつですか。(複数回答可)

- ①コロナ禍以降(令和2年2月以降) ②コロナ禍以前

3) 2)において①と回答された方にお尋ねします。

コロナ禍以前と比較して、自死に関する相談や対応について変化を感じていますか。

- ①はい ②いいえ

また、①(変化を感じている)と回答された方はどのような変化を感じていますか。(自由記載)

例) 件数が増えた／内容が深刻化している／悩みに気づきにくい／実際に自傷行為に至るケースが増えている など

( )

4) 児童・生徒が自死に至らないため、どのような研修や対策が必要と考えますか。(複数回答可)

- ① 悩みを抱え込まず周囲に助けを求めることを学ぶ教育(SOSの出し方教育)  
② 子どもが出したSOSに気づき、受け止めるための教員や保護者に対する研修の実施  
③ 小中学校における、児童・生徒に対するゲートキーパー(※1)研修の実施  
④ 教員や保護者に対するゲートキーパー(※1)研修の実施  
⑤ 小中学校における積極的な相談窓口の周知・啓発(プリント配布、ポスター掲示など)  
⑥ 児童・生徒を対象としたストレスとその対処法についての研修の実施  
⑦ 児童・生徒に関わる大人を対象としたストレスとその対処法についての研修の実施  
⑧ 児童・生徒のこころの相談を受ける専門職の増員  
⑨ その他 ( )

※1 ゲートキーパー 『命の門番(=ゲートキーパー)』と位置付けられる人のことで、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。特別な資格は存在しない。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

☆枚方市保健所 保健医療課では、4)でお尋ねした研修や対策に関する研修プログラムの実施が可能です。  
プログラム内容等に関心をお持ちの方がおられましたら、ご連絡ください。  
各研修の実施についてご相談をお受けいたします。